

ミニ企画展 青木幸夫氏

「切り絵シリーズ ⑰ “生きている”」 6月30日まで開催中

1階スロープ展示スペースでは、5月1日(日)～6月30日(木)まで青木幸夫氏の切り絵展を開催中です。



今回は「生きている」をテーマに6つの作品が展示されています。

黙したまま健気に命をつないでいる草花、野の鳥たちや蝶といった寡黙に逞しく生きるものたちへの思いを切り絵にされています。その生命力あふれる作品の数々をご覧ください。また、当館2階の談話室には青木氏から寄贈いただいた「大山街道小景」5点も常設展示しています。そちらもあわせてご覧ください。

イベントホール ギャラリー利用報告 写真展「田園都市線・大井町線がある日常」

5月2日(月)から5月5日(木)まで、イベントホールにて、田中熙人さん、西谷さん、東急南武沿線住民さんの3名により写真展「田園都市線・大井町線がある日常」が開催されました。



日常よく乗る電車が生活の中に溶け込みながらも、力強く駆け抜けていく約60枚の写真に、来場者の皆様から感動の声があがり、様々な話に花を咲かせておりました。連日多くの方が来場され、4日間合わせて200人以上と盛況のうちに終了しました。

【お知らせ】

◆展示室閉室のお知らせ

6月9日(木)、6月13日(月)～17日(金)は展示替えのため、展示室は閉室させていただきます。

川崎市大山街道ふるさと館 <利用案内>

電話：044 (813) 4705 FAX：044 (712) 0034

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3

開館時間 ・9:30～21:30 (展示室 10:00～17:00)

休館日 ・年末年始(2022年12月26日～1月4日)

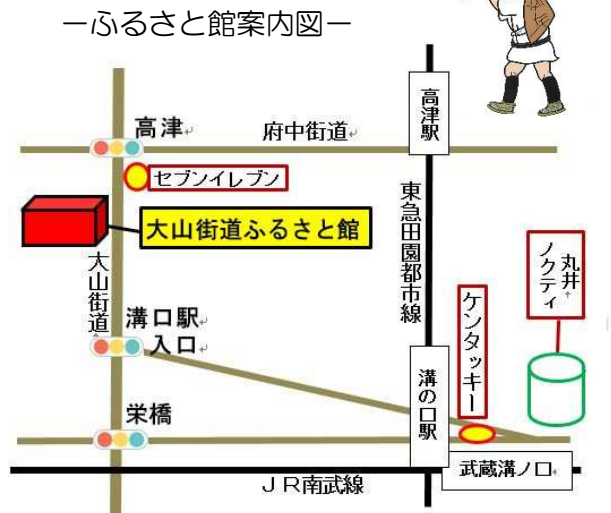
施設点検日 ・毎月の最終金曜日 (17時閉館)

ただし、2022年12月は第4金曜日になります。

※駐車は、貸館の利用団体用として、各団体1台とさせていただきます。

※ふるさと館では、イベントホール(定員64名)、第1会議室(12名)、第2会議室(30名)、和室(10名)が利用できます。「ふれあいネット」からお申込みください。

ふるさと館 HP



JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分
東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分

【編集・発行】川崎市大山街道ふるさと館

大山街道

ふるさと館だより

No. 69

2022. 5. 28

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 Tel: 044-813-4705 Fax: 044-712-0034 <http://furusatokan.web5.jp/>

令和4年度 第1回企画展 「さとう菊夫作品展～心に残る川崎の風景～」 6月8日(水)まで開催中

画家さとう菊夫氏は、福島県浪江町のご出身で、就職を機に上京。川崎に移りすむと川崎を第二のふるさととして川崎各地を描き、数多くの作品を残されました。川崎が工業の街として発展していくなかで様々な環境問題に悩まされ、公害都市と呼ばれる時期もありましたが、さとう菊夫氏は、川崎には生まれ故郷のような美しい風景もあると、1980年代を中心に田園風景など豊かな自然を描きました。徐々に消えゆく自然やかやぶきの民家の風景を前に、川崎の古き良き風景を残そうと「自由絵画」と名付けた写実的な絵画を多く描きました。

今回の作品展は、さとう菊夫氏の26点の絵画と40点以上の絵はがきから、二ヶ領用水や多摩川の風景を含め、川崎のなつかしい風景を見ていきます。かつての川崎を思い浮かべながら、変わりゆく街並みや今も当時と変わらず残る風景に想いを馳せつつ、さとう菊夫さんの世界をお楽しみください。

会場：大山街道ふるさと館 展示室 入場無料

開場時間：10時～17時

今回展示の
作品から



令和4年度 第2回企画展 ふれあいクラブ高津「第28回 趣味の作品展」 6月10日(金)～6月12日(日) 開催

高津区老人クラブ連合会(ふれあいクラブ高津)の会員の皆様による、趣味の教室や個人で丹精込めて制作した絵画、陶芸、写真、彫刻、手芸などの作品を展示します。会員の方々の秀作にご期待ください。

会場：大山街道ふるさと館 展示室

入場無料

開場時間：10時～17時



前回(令和元年度)の展示の様子

＜企画展＞ 開催のお知らせ 「のぞいてみよう昔の暮らし —昭和から平成へ—」

主催:川崎市市民ミュージアム 共催:川崎市大山街道ふるさと館

2022年6月18日(土)～8月28日(日)

開場時間:10時～17時 観覧無料

現在、普段から何気なく使っている水道・電気・ガス・通信といったライフラインは、今から約90年前まで遡ると、すべての家庭で使えるものではなく、暮らしに必要なことは主に手作業で行うことが当たり前でした。

戦後、高度経済成長期を経て、世の中が豊かになってくると、人々の暮らしも大きく変化しました。各家庭にライフラインや電化製品が行きわたり、これまでより家事に手間も時間もかからなくなっていました。

本展では、昭和から平成の暮らしの変化について、各時代の生活道具を通して紹介します。川崎市内で実際に使われていた道具を公開することで、川崎市の歴史や文化への関心を深めていただく機会となれば幸いです。



展示予定品

川崎市市民ミュージアム所蔵

企画展「のぞいてみよう昔の暮らし」 関連の講演会・講座のご案内

事前申込が必要です

① 企画展記念講演会「高度経済成長期の川崎—暮らしの変化を探る—」

戦後復興を遂げた川崎における高度経済成長期(昭和30年代～40年代後半頃)の暮らしについて、写真や映像等を交えてご紹介します。講演の後、展示室にて解説を行います。

7月9日(土)10:00～12:00 参加費:500円 定員:30名(応募者多数の場合は抽選)

講師:谷 拓馬(川崎市市民ミュージアム学芸員) 申込期間:6月1日(水)～6月15日(水)

場所:川崎市大山街道ふるさと館 2階イベントホール 主催:川崎市大山街道ふるさと館

② 夏休み小中学生のためのふるさと発見講座「昔の暮らしを調べよう」

昔はどんな道具を使って生活して、暮らしがどう変わったのかを紹介します。イベントホールでのお話の後、展示室にて解説を行います。小学5年生から中学生を対象とした講座です。

8月6日(土)10:00～12:00 定員:30名(応募者多数の場合は抽選) 参加費:無料

講師:林 花音(川崎市市民ミュージアム学芸員) 申込期間:6月1日(水)～7月13日(水)

場所:川崎市大山街道ふるさと館 2階イベントホール 主催:川崎市大山街道ふるさと館

【申し込み方法 ①②共通】

◇往復はがき往信(裏面)に、イベント名、参加者全員のお名前(②の講座は学校・学年)、住所、電話番号。返信(表面)に、ご自身の郵便番号、住所、お名前を明記してください。

◇宛先:〒213-0001 川崎市高津区溝口3-13-3 川崎市大山街道ふるさと館

◇ハガキ1枚で4名まで応募できます。

◇締切日(申込最終日)必着 ※応募者多数の場合は締め切り後に抽選を行い、締切日6日後までに、結果をご連絡いたします。

2022年1月22日(土) 令和3年度 第4回企画展 記念講演会 「水害伝承からみる多摩川—水害と治水のはなし—」 報告

今回の講演会は、川崎市市民ミュージアム学芸員の林花音氏を講師にお招きしました。暴れ川として知られた多摩川の歴史を、伝承から探っていく内容でした。多摩川沿いに残る水害の体験談や高津区の綱下げの松に伝わる洪水と松寿弁財天にまつわる伝説などから人々が多摩川とどのように向き合っていたのかを考え、伝承研究から地域の歴史を学ぶ興味深い内容の講演会でした。



2022年2月26日(土)～3月3日(木) 令和3年度 第5回企画展 「地域が創出するカルチャー展」および「高津のまちアーカイブ展」 報告

本企画展はふるさと館にて活動している文化団体の作品を展示・紹介するものです。今回は「フラワーサークル リリー」、「なかよしクラブ」、「麦の会」、「高津短歌会」、「高津パステル」、「天為溝の口俳句会」の六つの団体が参加し、それぞれフラワーアレンジメント、書道、絵画、短歌、俳句といった多彩な作品を、ふるさと館1階の展示室にて披露していただきました。全6日間の日程の間、来館者様と出展者様との間に、作品を通して温かな交流が生まれる場面も多くありました。



また、同時にふるさと館1階のスロープにて、「高津のまちアーカイブ展」を開催いたしました。地域の歴史を写した古い写真の数々を紹介するもので、今回は「二子三業地」をテーマに、大正末期から昭和初期にかけての二子地区、二子の料亭や芸妓の写真などを展示し注目を集めました。

令和4年度 春季大山街道学習講座「歩いて知ろう大山へ」報告 第1回:赤坂御門～渋谷、第2回:渋谷～三軒茶屋 講師 對馬醇一氏

第1回 4月30日(土)

赤坂見附駅近くの弁慶橋に、定刻に参加者の皆さんが集まり、赤坂御門跡から、いよいよ大山に向けてスタートしました。この日は、天気にも恵まれ、気持ちのよい街道歩きとなりました。

今季から大山街道から少し離れた見どころもできるだけご案内しようと、まず清水谷公園へ行き、大久保利通哀悼碑を見学しました。さらに、牛鳴坂をのぼり、高橋是清翁記念公園で休憩。講師の對馬先生から高橋是清に関する興味深いお話を伺いました。赤坂御用地を見ながら、梅窓院へ。さらに善光寺で高野長英の記念碑を見て、宮益坂の御嶽神社を見学後、渋谷駅八千公前で解散しました。



赤坂御門跡にて

第2回 5月14日(土)

今回は渋谷駅八千公前から道玄坂を上がり、氷川神社、池尻稻荷神社、三宿交差点を通り三軒茶屋のキャロットタワーから眺望を眺め、教学院(目青不動)を見学する約4kmの講座でした。前日まで雨が降り続き、中止も心配されましたが当日は良く晴れ、少し蒸し暑い中での開催となりました。氷川神社では、對馬先生から境内にある富士浅間神社の解説を伺い、参加者が遠く富士山へ思いをはせつつ参拝をしましたが、三軒茶屋のキャロットタワーに上ると展望台から微かに富士山を望むことができました。ご家族ご友人で参加されている方も多く、コロナ禍ながら賑わいのある講座となりました。



教学院(目青不動)にて